

第 117 号

2016 年 6 月

ラルーラ通信

<発行>

中部学院大学

子ども家庭支援センター

〒504-0837 岐阜県

各務原市那加甥田町30-1

Tel.058-375-3605

fax058-375-3609

童話「ちいさいモモちゃん」と私と子ども達



中部学院大学短期大学部
幼児教育学科 特任准教授 佐藤由紀子

「ちいさいモモちゃん」の童話の作者である松谷みよこさんをご存知ですか？赤ちゃんの絵本で誰でも一度は手にしたことがある「いない いない ばぁ」の作者でもあります。残念ながら昨年お亡くなりになりましたが、素晴らしい作品が多くあります。

私は幼稚園・保育園・幼保園の40年間の保育者生活を通して、小学校入学を控えた5歳児の子ども達に30年余り、毎年「ちいさいモモちゃん」シリーズを読み続けてきました。モモちゃんが生まれてから少しずつ成長していく過程を、ユーモアを織り交ぜながら現実の世界からファンタジックな世界へと誘われる内容が素敵で、子ども達は目を輝かせて聴いてくれました。期待と不安感を抱えた入学前の子ども達にとって、生まれてから今まで育ってきた自分とモモちゃんの成長を「自分もこうやって大きくなってきたんだなぁ」と重ね合わせて聞いていたのではないかと思います。私もその時の子ども達の表情やつぶやきなどの反応が楽しみで、一緒に童話の世界を楽しみました。

モモちゃんのお母さんがこの時期には珍しく働く母親として忙しい中、童話で表現されるわが子へのまなざしの温かさは、二人の息子を育てる大変な時期の私の大きな励みになりました。作者自身の離婚という試練や、その時代での「あかちゃんの家」にあずけながら仕事をするという子育ての大変さを、明るく前向きに乗り越えていくたくましいモモちゃんのお母さんの姿を感じながら、自分自身も母として成長できたように思います。

その頃の私は忙しさの中で我が子と接する時間がほとんどなく、それが大きなストレスになっていました。この童話も幼稚園の子ども達には読んで自分のお子には読む時間がとれなかったのです。そんな時に「せめても子どもと共に過ごせる時間を大切に、モモちゃんのお母さんのように子育てを楽しめたら」と思って「二人の小さなお話」という題名をつけて、息子の姿を記録するノートを作りました。そしてちょっとした時間にその時のわが子への思いを書き留めてきました。今ではそれが私の大切な宝物になり、ノートを開けると子育て時期のわが子への思いがいきいきとよみがえってきます。貴重な瞬間の記録を残してみませんか？素敵なわが子の童話ができますよ。

<兄が洗濯かごに弟をのせて> “わーい でんしゃだ でんしゃだ ガッタンコ ガッタンコ”
<台所を引っ張りまわしている。弟はいかにも不安そう> 私が料理を作っている所に来て
”お母さん駅につきましたー ガス駅に着きましたー さあ鉄橋を通りますー
トンネル（食卓の下）を通りますー また お母さん駅につきましたー “

一緒に遊んであげられなかったけれど、子どもなりに自分たちで遊びをみつけていました。



畑の玉ねぎ収穫！



ラ・ルーラ畑では先日から、玉ねぎの収穫が始まりました。学生とラ・ルーラのスタッフが世話をし育てた畑の玉ねぎですから出来ばえは様々。大きなものもあれば子どもの手のひらに乗るほどの小さな玉ねぎもあります。「どれにしようかなあ…」とママと一緒に品定め(?)から始まり「これにしよう！」と決めて引き抜くのですが2歳前後の子ども一人の力ではなかなか抜けません。葉や茎だけポキッとちぎれてしまうこともしばしばです。ドズン！と転んでしまっても「アラアラ…」と言いながら再挑戦。



どのお子さんも楽しそうの玉ねぎの収穫を楽しみました。

次はサツマイモの苗植えです。昨年同様「サツマイモ親子隊員」を募集します。サツマイモの苗植えから収穫まで世話をし、育てたサツマイモを収穫します。詳しくはスタッフまでお尋ねください。



おまけの散歩
玉ねぎを抜き終わると
あちらこちらへと
トコトコ散歩へ。
これも楽しみのひとつです。



もしもの時に備えて 災害(地震)対策

どんな災害がいつ起きるかわかりません。子育て中のご家庭は特に不安も大きくなります。「備えあれば憂いなし」。準備できることは日頃から気に留めておくとしりでも楽になります。

- ① **部屋の中の見直し** 赤ちゃんや小さなお子さんがほとんど一日過ごしているベッドやリビングの安全確保。物が落ちたり倒れてくるものはありませんか。家中は難しくてもせめてお子さんが過ごす空間は物が落ちてきたり倒れたりするものがないか確認しましょう。
- ② **非難持ち出し袋の準備** 「必要な物は何か」今一度確認しましょう。また携帯電話の充電が切れ電話番号がわからず連絡が取れなくなることもあります。必要最低限の電話番号は母子手帳などに記入しいつものバックに入れておくと安心です。
- ③ **日頃からご近所を大切に** 「遠くの親戚よりも近くの他人」。まずは近所の方の支えが心強いものです。日頃から挨拶を交わしたりするだけでご近所の方が覚えてくださります。

着替え
数組用意しておくで安心です

帽子・靴下

ヘルメットや靴が、もしなくても帽子と靴下があれば少しでも身を守れます

子ども用食器類・哺乳瓶

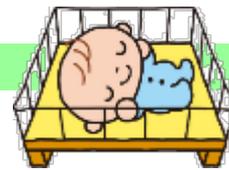
今はどこに行っても用意されている所が多いですが、無いととても困ります

食物アレルギーのあるお子さんは除去食の備えがあると安心！

紙おむつ

何よりもすぐに必要となります

赤ちゃんの寝かせ方 抱っこからベットへ



先月の催し「赤ちゃん集まれ！」でのこと。
今回も赤ちゃんを囲みながらおしゃべりが弾み、卒乳の話やハイハイの話など悩みほどではないけど「今こんなことが…」と子育て状況で交流会。初めてのママもいつのまにか仲間入りです。そんな時、先輩ママ（第三子の赤ちゃんのママ）がA君を寝かせつけてベットへポイ！起きないようにそっとではなく、本当に『ポイ！』だったのです。みんなもビックリ。そして「お尻スイッチ」の話へ。

やっとのことで寝かしつけた赤ちゃんを布団に寝かせるのは至難の業。そ〜っと寝かせても「うわぁーん！」と直ぐに泣き出してしまうのが普通です。その降ろし方にコツがあり「赤ちゃんを起こさないためには（お尻ではなく）頭を先に降ろすの」とA君ママ。「赤ちゃんはお尻を支えてもらっていることで安心しているから頭が先でお尻は最後がいいの」と。赤ちゃんのお尻がポイントようです。A君ママのようにポイ！とは行かなくても、頭からゆっくり降ろしてトントンしながら様子を見て、お尻の下の手はしばらく置いておくと成功率は上がるかも。

今流行りのトリセツなんてもちろんなくて、育児書を見てもその通りに行かないのが子育てです。いろいろな人と関わりおしゃべりする中で楽になることがたくさんあります。まずは一歩外に出ておしゃべりしてみませんか。きっといいことがありますよ。



「赤ちゃん集まれ！」とは

毎月最終木曜日に赤ちゃんを対象にしたラ・ルーラの催し。絵本の読み聞かせで始まり身近な廃材でおもちゃを作りながらママたちの交流会。気軽におしゃべりして仲間作りに発展しています。

夏祭り



今年も夏祭りの季節がやってきました。昔ながらの盆踊りの曲が流れいろいろな屋台があり、小さなお子さんからご年配の方々まで楽しめるそんな「夏祭り」を今年も計画し準備中です。どうぞお楽しみに！！

7月31日(日) 17:00~20:00頃まで

場所：各務原キャンパス 事務室前エントランス付近



大好評の手作りうちわ！
学生による1枚1枚手書きの
手作りのうちわ。
今年もみんなで製作中！



昨年度の夏祭りチラシ



図書館職員による読み聞かせ

毎日のお話の時間に、毎月1回図書館職員による読み聞かせも行っています。図書館お薦めの絵本を始め、お母さん向けの図書の紹介もしています。大学図書館では貸し出しもしていますので、気に入ればそのまま借りて自宅でゆっくり読むこともできます。どうぞご利用ください。





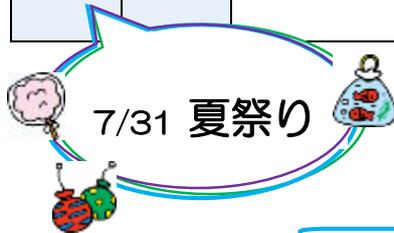
<ラ・ルーラ開設日>火・水・木・金・土曜日 (時間 10:00~16:00)

催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。



7月の予定

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6 11:00頃~ お母さんのための リフレッシュ講座	7	8 移動図書館 11:00~	9 作って遊ぼう 11:00~
10	11	12	13	14 ママと遊ぼう 11:00~11:45	15	16
17	18	19	20 みんなで遊ぼう 11:00~11:45	21	22	23
24/31	25	26	27	28 赤ちゃん集まれ 11:00~11:45	29 7月の誕生会 12:40~13:00	30



7/31 夏祭り

*毎日 11 時頃にお話しの時間があります。

*各サロン・子育て実践プログラム等

ラ・ルーラ利用料(保険料)にてご利用いただけます。

7月の行事 * 内容紹介

6日 お母さんのためのリフレッシュ講座

「帽子作り」

夏用の帽子を布で作ります。好きな色・配色を選んでオリジナル帽子を作りませんか?
毎年好評の講座で、結構簡単に仕上がり達成感は最高です。ポチポチ作りましょう。

8日 移動図書館 ・読み聞かせ

図書館スタッフによる 本の紹介と読み聞かせ

9日 作って遊ぼう

「水遊びカップ」を作って遊べます。

14日 ママと遊ぼう (1~3歳児対象)

「ママと一緒に砂遊び」

汚れてもいい服に着替えて、ママと一緒に思い切り砂遊びを楽しみます。

20日 みんなで遊ぼう (2~3歳児対象)

「みんなと一緒に砂遊び」

汚れてもいい服に着替えて、砂場デッキで大きな山を作ったりままごとごっこをしたり
ママと一緒に友達を意識できる遊びをします。

28日 赤ちゃん集まれ (0歳児対象)

親子ふれあい遊び & 交流

29日 誕生会

7月生まれのお友達を みんなで祝います。

31日 夏祭り

詳細は通信にて。

尚、各行事・催しは定員 15~20 組、準備のため事前参加申込みが必要です。

お問い合わせ先

電話：058-375-3605 FAX：058-375-3609

